

令和 6 年 2 月 29 日発行

発行：山形県立荒砥高等学校 PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校 PTA 文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL (0238) 85-2171 FAX (0238) 85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>

地域貢献活動

高校生が紅花収穫ボランティア
生産量日本一 白鷹町



小さな町だけど、日本一のものがあって
誇りに思っている



吹奏楽部 第20回定期演奏会



エリート思軒さんとのコラボパン販売
白鷹町産業フェア



スポーツ祭



白鷹町青少年国際交流事業
(オーストラリア)

一年を振り返って



PTA 会長 佐藤 一彦

春の気配の感じられる季節となりました。日頃、本校教育活動、運営へのご後援、ご協力を賜ります各々面並びに、地域の皆様に心より感謝を申し上げます。

荒砥高校は、「なりたい自分になる」キャリア教育を大切にした総合学科の高校です。キャリアとは、経験です。一人一人、異なる個性を持つ人であれば、おのずから求めるところも違ってくる。本校を一言でアピールする

ならば、「二人一人の学びを支える育む学校」と言えるでしょう。県立高校なのに小規模校だからこそ、あらゆる場面で主役になれる。そして、自己を発揮するチャンスは、無数に存在します。

小規模校と聞くと、とかくスポーツ系のクラブ数は激減、イコール運動音痴集団かと思いきや、当校の「スポーツ祭」(令和五年六月十五日開催)は、圧巻の迫力スポーツイベントと言えます。

障害物競走に始まり、二人三脚リレー、綱引き、借人競走、全員リレーと、オリンピック「五種競技」に匹敵するパワーで、一人五種目をこなす、複合競技の全員参加版であるというところは驚きです。さらにフィナーレは、紅白対抗「各組団体演技」で締めくくられるわけですから、一人六種目の汗を流すわけでありです。近代オリンピックの創立者クーベルタン男爵も絶賛間違いなし。ぜひ一度、ご観戦をおすすめします。

そして、荒砥高校の文化の祭典「荒高祭」(令和五年十月二十日・二十一日)は、一人一人の主体的に取り組むテーマ性を、遺憾なく発揮する場面と言えます。一般公開には、ぜひお訪ねいただき、未来多き若人を鼓舞いただきたく思います。荒砥高校は、学び成長の「伸びしろ」、県内一の高校」です。今後とも、皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。

令和 6 年 2 月 29 日発行

いなりだい

第91号(6)

令和5年度
3年次生進路先一覧 (男・女)

★就職者 13名 (男7名 女6名)

白鷹町 5名 (男3名 女2名)

- ・株式会社 ナカヤマ製作所
- ・株式会社 ニクニ白鷹
- ・社会福祉法人 白鷹福祉会
- ・しらたか不二サッシ株式会社
- ・株式会社 メトリ

長井市 4名 (男2名 女2名)

- ・加賀マイクロソリューション株式会社
- ・山形事業所
- ・那須建設 株式会社
- ・株式会社 椎名製作所
- ・ケミコンデバイス株式会社

南陽市 1名 (男1名 女0名)

- ・株式会社 山口ファーム

山形県内 1名 (男0名 女1名)

- ・株式会社 ジェイ・サポート

県外 1名 (男0名 女1名)

- ・株式会社 MHファーム

公務員 1名 (男1名 女0名)

- ・白鷹町役場

★進学者 8名 (男3名 女5名)

大学 3名 (男1名 女2名)

- ＜私立＞
- ・東海大学 情報理工学部
- ・情報メディア学科
- ・立正大学 文学部 社会学科
- ・大正大学 仏教学部 仏教学科
- ・宗学コース

専門学校等 4名 (男1名 女3名)

- ・東京ビューティーアート専門学校
- ・エステティック科
- ・ファッションカレッジ校丘
- ・ファッションビジネス科
- ・大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校
- ・山形校 税理士コース
- ・花壇自動車大学校 自動車科

短期大学 1名 (男1名 女0名)

- ＜私立＞
- ・福島学院大学短期大学部 食物栄養学科



今年度の進路状況を振り返って

進路指導課 荒井 清明

今年度の三年次二十一名は、就職希望者七名と進学希望者が十四名と就職希望者が多い年でありました。

今年度は、新型コロナに係る規制等が緩和されてほぼ通常の活動に戻り、これまでの経済活動等の制限が撤廃された結果、昨年以上の求人があった年でした。そこで、就職・進学ともに活発で積極的に動くことができ、年内に三年次生の多くが進路を決定することができました。

初めて今年度の就職は、今年度は大部分の生徒が地元企業への就職を希望しており、ハローワーク長井管内の企業から多くの生徒が内

定いただいたことは、地域を支える人材の輩出を目指す本校としてはうれしい限りでありました。これも、白鷹町合同企業説明会を始め、就業体験活動や企業見学など、地元企業の協力や企業見学の功を考える機会を実施しているところにあると考えております。

就職する生徒諸君は、今回内定をいただいた企業でいかに社会人としての基本的なスキルを学ばせてもらえるかが、変化のスピードが速いこれからの社会を生き抜いていくポイントだと思っております。しっかりと食らいついてほしいと思います。

続いて今年度の進学は、学校推薦型選抜や総合型選抜等の推薦制度を利用して生徒の多くが合格しております。四年制大学と短期大学に四名、各種専門学校に三名が決定しております。特に、ブレゼ

ンテーションを課す首都圏の四年制大学に三名の合格者を出せた事は、本校の探究活動の成果の現れとして、大きな意義がありました。そして、同じような進路を目指す後輩にも、非常に大きな遺産を残してくれたと思います。

進学を志す人は、自分が就きたい職業に必要なスキルやそれを満たす進路先、加えて入試制度や受験方法など入試情報を丹念に分析して十分な対策をとることが求められます。さらに、高校時代に探究してきた事は、必ず問われるので、探究活動にもしっかりと取り組んでほしいと思います。

終わりに、今年度は二十一名が本校を巣立ちます。もし、何かの縁で二緒する機会がありましたら、一言お声を掛け頂ければ幸いです。

二年間を振り返って

三年次主任 森 綱一郎

一昨年四月に荒砥高校に赴任してはや二年が過ぎようとしています。卒業を目前にして、この二年間を振り返ってみると、様々なことが思い出されます。進路目標の実現に向けて、一人一人が真剣に取り組んでくれたことは素晴らしいことでした。高校生活を締めくくりに、新しい世界へと羽ばたいていく三年生の皆さんに幸多かれと願っております。併せて、年次団以外の多くの先生方、保護者の皆様、卒業生の方、PTAの方や地域に方々にも感謝の気持ち一杯です。地域に根ざした荒砥高校の豊かな教育に触れることが出来た。荒砥高校は学校らしい学校だと実感しました。効率や結果が最優先する風潮にある現代社会の中で、教育のあり方とは何かを考える契機を荒砥高校から与えてもらったと私は思います。この縁に感謝しつつ、職務に励みたいと思っております。

今年度のPTA活動を振り返って

のほど、宜しくお願いいたします。

(PTA文化部 編集委員会)

- 部長 小林 政雄
- 副部長 宮澤 いずみ
- 部員 小関由利子
- 佐竹てるみ
- 佐藤 良一
- 佐藤めぐみ



荒高祭特集

大声で笑った

荒高祭実行委員長 小口 隼輔

今年のテーマの「LAUGH」に込めた思いは、「声を出して笑う」です。コロナの制限が無くなって初めての荒高祭だったので、明るい笑い声であふれるイベントにしたいという思いを込めました。

今年から、飲食店が出せるようになったので、三次次が模擬店でカフェを行い、とても大盛況で、無事に完売させることができました。他の年次も楽しい企画を考え、とても充実した行事になりました。各クラスが協力することで、三大行事を成功させることができ、各クラスの繋がりがより深くなったと思います。

さらに、今年から、一般公開もすることができ、地域の方々がたくさんおいでになり、とても盛り上がりました。一日目・二日目とみんなの協力があって大成功で終わらせることができました。自分たちにとっても、とても良い経験になりました。皆様、協力していただき、ありがとうございました。

ご支援に心から感謝申しあげます
これからもよろしく
お願いいたします

後援会長 沼澤 政幸

今年度から「いなりだい」の発行が年一回に変更となり、ご挨拶と御礼が遅れてしまいました。

今年度から後援会長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。これまで後援会長として長年にわたりご尽力いただきました。菊地豊宗前会長様に心からの敬意と感謝を申しあげます。菊地前会長と同様に、皆様からのご理解とご協力を得ながら、荒砥高校を精一杯支援して参りたいと思っております。

後援会会員（一般・特別）の皆様には、常日ごろから荒砥高校への特段のご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

かなり前の話になりますが、私は七つの中学校に勤務しました。どの中学校でも「後援会」が組織され、物心ともに絶大なるご支援とご協力をいただきました。そのあ

りがたさは言葉に尽くしがたいものでした。昨日のことのように、この上なく支えていただいたことを思い出します。

一方で、「公立学校で要するものは地方公共団体が負担すべきだ」「税外負担はなすべし」とずっと言われてきました。それにもかかわらず、本校後援会会員の皆様からは、長年にわたり多大なるご支援をいただけてきました。私の経験から言えば、既述のとおり、学校にとって本当にありがたく、学校経営に大きく寄与してきたものでございます。

荒砥高校で学ぶ生徒は、近い将来、国や県、白鷹町を背負って立つ地域の宝です。荒砥高校に対して、これからも皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。



**たくさんの成長と共に
笑顔いっぱい二年**

校長 地主 佳子

PTA、後援会の皆様には、日頃、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。有難うございます。

今年度は、定員いっぱいの新入生とともに創立から七十五年目の春を賑やかにスタートし、猛暑に悩まされた長い夏を乗り越えて、現在、年度末の締めくくりへと向かっています。

今年度の荒高祭では、四年ぶりに一般公開や模擬店企画の実施、長井工業高校との生徒会交流が実現しました。地域の方、卒業生など多くの方が来校してくださり「荒高いいね」「懐かしい」などと生徒や教職員に声をかけてくださいました。また、PTAの皆様出店の焼きそば・カレーは短時間に完売し、美味いと頑張る生徒たちの笑顔がたくさん見られました。荒高祭を賑やかにしていただきとても感謝しております。

また、四年ぶりに白鷹町青

少年国際交流事業が再開され、本校からも三名の生徒がオーストラリアを訪問し国際感覚を養う研修に参加しました。

昨年度から今年にかけて、コロナ禍以前の行事などが再開される動きが加速したと感じています。

このほか特筆すべきこととしては、日本赤十字社から、本校がJRCに加盟して六十年となる節目に、長く地道な活動が続けてきたことに感謝状の贈呈を受けました。これまでの生徒会や保健委員会での取り組みが評価され嬉しく思っています。部活動では、今年度も囲碁女子で、全国高校総合文化祭鹿児島大会と全国選手権大会に出場しました。他にも、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト、県高校美術展、英語弁論大会、各種読書感想文コンクール、高校家庭クラブ研究発表などで入賞を果たすなど、今年もたくさんの方々の活躍がありました。

今後も、皆様から寄せられるご声援にお応えできるよう、一層教育活動の充実に取り組んで参ります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

令和5年度 後援会特別会費ご支援団体・個人

ご支援ありがとうございました。

〈団体〉

- 山形新報株式会社
- 株式会社ニクニ白鷹
- 株式会社ハヤタ製作所
- 有限会社長谷部鉄筋
- 衣袋建設株式会社
- しらたか工業株式会社
- 東北部品株式会社 山形工場
- 丸ト建設株式会社
- 株式会社アールステイ山形
- 有限会社セイノヤ
- 有限会社三和製作所
- 株式会社ナカヤマ製作所
- 株式会社鈴木工務店
- 株式会社川崎精工
- 株式会社志月
- 小角薬局
- 須貝設備工業株式会社
- 那須建設株式会社
- 医療法人社団 仁徳会
- 株式会社尚古堂
- 社会福祉法人 長井弘徳会
- 山形精密工業株式会社
- 山形日信電子株式会社
- 株式会社喜助
- 株式会社丸秀 長井工場
- 医療法人社団 白鷹福祉会
- 加賀アクリル工業株式会社 山形事務所
- 株式会社メトリ
- 共栄建設株式会社
- 有限会社小嶋自動車整備工場
- 有限会社ヒグチ電子
- 富士アルミ管工業株式会社 山形工場
- 株式会社ヒグチ電子
- 今間メリヤス株式会社
- 寒河江物流株式会社
- 株式会社サンユー技研
- 株式会社佐々木組
- 株式会社四金製作所
- 第一貨物株式会社 山形支店

〈個人〉

- 沼澤 政幸
- 菊地 豊宗
- 土方 俊男
- 関 千鶴子
- 五十嵐 政司
- 守谷 丹吾
- 沼澤 今朝夫
- 遠藤 茂男
- 荒砥高校教職員一同

〈順不同・敬称略〉

クラスマッチ



入賞
おめでとう!!



バドミントン

優勝 三年組
準優勝 一年B組

ポッチャ

優勝 三年組
準優勝 一年B組

各種目順位

優勝 三年組
準優勝 一年B組

総合順位

優勝 三年組
準優勝 一年B組

輝笑転結
前生徒会長 佐藤 優太

今年度は、イルスによる制限が緩和され、できることが増え、たくさんの方に挑戦できた一年だったと振り返ることができました。しかし、初めてのことは取り組む方がわからない場面も多々ありましたが、今年度の生徒会スローガン「輝笑転結」の「結」は、仲間と協力しながら今年度の荒砥高校を作り上げることができたと思います。このスローガンには、輝きと笑顔が大切にしながら、たとえつまずいたとしても最後には良い形で締めくくられるようにしよう、挑戦から生まれる笑顔を増やそうという意味が込められています。

今年度はどの行事も大成功に収めることができ、たくさんの方の笑顔を見ることができたと思います。それは多くの人から支えていただいたからこそ成し遂げられたことです。地域の方々、保護者の皆様、先生方、本当にありがとうございました。来年度から地域に根差した荒砥高校として白鷹町とともに成長していきます。一年間、本当にありがとうございました。

みんな笑顔で!
新生徒会長 齋藤 あみ

今年度の生徒会スローガンは「輝笑転結」、生徒一人一人が輝いて、笑顔あふれる学校にしたいという思いが込められています。

思うように物事が進まず、「小規模だから」と悔しい思いをするのも多々ありましたが、その中でもできることを探して荒砥高校を盛り上げようと活動してきました。

これからも壁にぶち当たることがあると思いますが、生徒全員でより良い荒砥高校にしていけるように頑張っていきます。これから一年間よろしくお願ひします。

生徒会役員紹介
令和五・六年度

会長	齋藤 あみ
副会長	井上 知寿
事務局長	馬場眞結子
議長	伊藤 心結
生活・PR委員長	鈴木 秀都
保健委員長	土屋 佑太
図書委員長	柳谷 優衣
事務局長企画	穂積 英虎
事務局長応援	宮澤 世周
事務局員	新野 美生
事務局員	川田 大夢
事務局員	佐竹 和也



修学旅行

感謝の4日間
二年一組 柳谷 優衣

三泊四日という修学旅行は小学生以来だったので、とても楽しみでした。前にコロナで急に修学旅行がなくなった経験や、ちよつとした心配事もあり無事に行くことができたのか少々不安を感じていました。しかし、それを吹き飛ばすほど楽しく、充実した四日間を過ごすことができました。

一日目は大阪に訪れ、海遊館・大阪城・道頓堀を散策しました。どこをとっても山形では見ることのできない風景が広がっていてとてもワクワクしました。二日目の午後からは、奈良・京都を訪れました。歴史的文化財に沢山触れた。教科書で見た景色が間近にあり、日本が紡いできた歴史について考えることができました。また、歴史だけではなく、班別で京都を探索し、映画村や京都駅周辺などを訪れ、班ごとに仲良く楽しむことができました。

十六人全員と先生方で修学旅行に行くことができて本当に嬉しかったです。この修学旅行で学んだことを活かして成長していきたいと思っています。

